

目的 家族関係における食生活の類似性や相異性が、味覚や健康への関連度、その要因などについての研究を行っているが、今回は対象を父と女子学生におき、食生活面についての報告を行う。

方法 父と女子学生14組の290名について、食物摂取量を日曜を含む3日間の自記式秤量調査による。

- 結果 1) 対象の属性 父: 年齢 49才 身長 162.3±5.3cm 体重 62.3±7.0kg 女子学生: 年齢 18才 身長 156.9±5.0cm 体重 51.0±5.9kg
- 2) 栄養素摂取率における平均値の差の検定の結果 エネルギー、鉄、ビタミンAにおいて有意性があり、父と女子学生の相異性が認められた。他の栄養素摂取率においては、父と女子学生の間類似性が認められた。
- 3) 食品群別摂取量では、米と乳の摂取量に有意性があり相異性が認められた。
- 4) 相関行列で分析すると特徴的なものは、父と女子学生に共通してエネルギー摂取率が多くなると、ナトリウム、カリウムの摂取が高くなり、鉄はたん白質、脂肪 カルシウム、ビタミンAとの間に相関が認められた。